

認知症サポーター等の活動促進及び認知症の人の社会参加について

I 認知症サポーター等の活動促進

1 趣 旨

令和6年度第1回認知症施策検討専門部会において、令和5年度重点施策「『チームオレンジBunkyo』サポーターによる認知症に優しいまちづくり」の取組状況を報告した。前回の報告後から現在に至るまでの事業の実施状況について報告する。

2 主な事業内容と取組状況

(1) 地域で継続的に活動するサポーターの育成

① 認知症サポーターステップアップ講座（実践）

養成講座を受講した認知症サポーターを対象に、地域でのボランティア活動を後押しするため、令和5年度からより実践的な講座内容に拡充して実施している。

	令和5年度【参考】			令和6年度		
回 次	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
内 容	講義	実習	講義	講義	実習	講義
参加者数	20名	20名	19名	15名	14名	()名

【主な内容】

- 1回目：講義 ● 認知症の人との関わり方について
● 地域と繋がる大切さについて
- 2回目：実習 区内の認知症カフェや小規模多機能型施設でのボランティア体験
- 3回目：講義 ● 実習の振り返り
● 認知症サポーターとしての活動について
● 文京区のチームオレンジについて
- 講座修了者に対し、修了証と名前を印刷したカードを名札として配付

(2) サポーターの活動状況と活動支援

① チームオレンジ活動

認知症カフェ等において、認知症当事者や専門職とともに、チームオレンジの運営の一端を担っている。

- 各活動先のスタンスに賛同し、運営協力の意向がある場合、事前に「チームオレンジ活動登録」を行う。
- 活動登録を行ったサポーターに対し、活動支援費（500円/回）を支給する。
〈登録人数〉6名（※令和6年12月末現在）

② 公式LINEによるボランティア情報等の配信

認知症サポーター専用公式LINEアカウントにより、令和5年度修了者や令和6年度受講者に対し、認知症関連事業のボランティア活動に関する情報等を配信している。

〈配信件数〉12件（※令和6年12月末現在）

③ 認知症サポーター勉強会・交流会

令和5年度ステップアップ講座修了者を対象に、地域活動に必要な知識やスキルについて理解を深めるための勉強会と、モチベーションの維持・向上を図るための交流会を開催している。

〈第1回〉 日 程：令和6年7月10日（水） 参加者数：8名

〈第2回〉 日 程：令和7年2月7日（金）（予定）

参 考：開催案内チラシ 別紙1のとおり

※ 第1回・第2回のいずれも(株)ケアワーク弥生・本社内施設で実施

(3) 認知症本人交流会の開催

区内の高齢者あんしん相談センターと連携し、認知症本人の想いやニーズを伺う本人交流会（本人ミーティング）を実施している。

〈実施状況〉5回（※令和6年12月末現在）

〈テーマ例〉「これからやってみたいこと」「なぜ認知症は怖いのか」等

II 認知症の人の社会参加

1 趣 旨

区では、認知症基本法の理念を受け、認知症の本人が地域の居場所や社会資源へつながる仕組みや、地域で主体的に活動できる機会の創出等について検討を進めている。

次年度の重点施策として、認知症の人の社会参加に資する新たな事業を実施する。

2 令和7年度重点施策

(1) 事業名称

『チームオレンジ Bunkyo』サポーターによる認知症に優しいまちづくり 2.0
～チームオレンジお助け隊による啓発の促進～

(2) 事業概要

これまでの取組みに加え、新たに文京区シルバー人材センターと連携し、認知症の本人と他の高齢者が複数人で一緒に就業する。その活動を通じて、区民や区内企業に対し、チームオレンジの取組み及び認知症に優しいまちに係る普及啓発や理解の促進を図る。

〈参 考〉事業スキーム図 別紙2のとおり

(3) 今後について

シルバー人材センターと連携し、以下の取組を進める。

- ① 区内事業者への周知及び受注の開拓
- ② 認知症当事者会員の募集